

春風に立つて丘に  
春風に立つて丘に  
春風に立つて丘に  
春風に立つて丘に

春風に立つて丘に  
春風に立つて丘に  
春風に立つて丘に  
春風に立つて丘に

高校（D）俳句

春風（しゅんぷう）や鬪志（とうし）いだきて 丘（おか）に立（た）つ 明治・大正・昭和に活躍した俳人で小説家、高浜虚子が39歳の時に詠んだ俳句です。  
遠ざかって俳壇に復帰するぞ、と決意を固め、燃える心を秘めて、春風に吹かれる虚子の姿が目に浮かびます。

令和3年度 全国学生書き初め展覧会 毛筆参考手本 主催 一般社団法人日本書字文化協会、共催 公益財団法人文字・活字文化推進機構 後援 文部科学省ほか 大平恵理書

高校（D）俳句

春風（しゅんぶう）や鬪志（とうし）いだきて 丘（おか）に立（た）つ 明治・大正・昭和に活躍した俳人で小説家、高浜虚子が39歳の時に詠んだ俳句です。  
遠ざかって俳壇に復帰するぞ、と決意を固め、燃える心を秘めて、春風に吹かれる虚子の姿が目に浮かびます。